
8. 消えゆく街並み、解体する建物のイラストによる記録

大淵・アデックとその仲間達の手仕事
(関東地方)

I. 活動の目的

解体で消えゆく意味深い建物。都市計画、区画整理で消えゆく風景、又いつまでも残っていてほしい貴重な表情豊かな建物、街並み等をスケッチとして残す、図面で残すことを目的に仲間達が集まり、本来の業務のかたわら手仕事として活動を行っている。

メンバーは、代表大淵（埼玉）、アデックの大井、佐野（神奈川）、アクトファーニチャーの貝瀬、山口（群馬）、建設業の大内（茨城）、町役場勤務の稲田（栃木）、建設業の藤本（山梨）、インテリアコーディネーターの池田（東京）諸氏達である。

II. 活動の内容

《大淵とその仲間達の手仕事展》

<97年11月9日～11月26日 栃木県芳賀郡茂木町、茂木プラザギャラリー>

栃木の手仕事会員、稲田夫妻を中心とするその友人達と共同で「ふるさと茂木をスケッチで拾う」～建物、街並みを描く～を開催。

日々変化してゆく地方の町の現在のランドスケープを建物を描き、展示し、町民及び関係者に、自分の町の見落としがちな魅力、長所を認識してもらいたいということで発表した。

地元、下野新聞社と茂木町役場、教育委員会の後援があって会場には小学生、町民の方、会場に立ち寄った方々で1,000人近い方々に見て頂く事ができた。

- ・寺院、神社、民家、街並み、商店、工場、学校、駅、鉄道施設など25点を展示。
- ・稲田（広報、企画）大内（会場施設）アクトファーニチャー（資料制作）



茂木町でのスケッチ展

《大淵・アデックとその仲間達の手仕事展》

＜98年3月9日（月）～3月14日（土）銀座イケダヤ画廊＞

（銀座イケダヤ画廊…東京都中央区銀座6-9-12 房野ビル1F）

- ・解体建物物件＝田中邸（大阪）小池邸（米沢）……………大淵
- ・記録依頼物件＝旧川俣小学校（栃木、茂木）……………大淵
- ・いつまでも保存してほしい貴重な建物＝聖路加教会、ワコー、慶応三田図書館、
交詢社、茅町岩崎邸、開東閣等……………大淵
- ・東京の交番より昭和初期の大正ロマンの漂う建物……………大井
- ・千葉、市川の病院と住宅から……………小島
などを制作、発表した。

6日間の作品発表、展示の来場者数は約300名であった。

建築、インテリア関係者60%、一般の方40%の割で職業柄、専門色の濃い発表会となった。

III. 今後の課題

今後は、各地域のネットワーク作りの充実と活動を広く理解してもらうべき方法もとっていきたいと考えています。

そして、この手仕事が生活者の方々に少しでも役に立っていける努力を会員全員で続けていく心算であります。

また、ハウジングアンドコミュニティ財団の助成団体とも一緒に企画等に参画できましたらこの上ない喜びとするものです。

